

令和6年みさと化石の会講演会

# アンモナイトの死骸は浮くか沈むか？

講師：九州大学名誉教授 前田晴良先生

アンモナイト化石は昔から研究されていますが、なぜどのように化石として残るのかについては、実はまだよくわかっていません。

本講演では「そもそも彼らの死後、遺骸がなぜ海底に沈んだのか？」という初歩的な疑問に立ち返って彼らの化石化の謎に迫ります。



日時：

令和6年10月20日(日)

13:30～15:00 (13:00開場)

会場：三重県総合博物館

レクチャールーム  
入場無料

前田晴良先生プロフィール

1958年、東京・品川生まれ  
東大理学部・理学研究科で、地質学・古生物学を学びました。  
その後、高知大学助手・京都大学助手・助教授・准教授を経て2012年から今年の3月まで九州大学総合研究博物館の教授を務められました。  
この間、1999-2000年にはオハイオ大学客員教授、2015-2016年には日本古生物学会会長などを歴任されています。  
アンモナイトの研究や、なぜそもそも生き物が化石に残るのかについての研究(タフォノミー)で世界をリードされてきました。

化石採取会の開催について (詳しくは裏面に表記)

日時：令和6年10月19日(土) 9:30～15:00

場所：長野川(美里町南長野)

集合場所：津市美里支所前 9:30 (前田晴良先生も参加予定です。)

主催：みさと化石の会

協力：三重県総合博物館 MieMu

後援：津市、津市教育委員会、津文化協会

連絡先：みさと化石の会事務局 090-3308-7175 杉平 庄一  
：miyamotoosamu1208@gmail.com 宮本 治

みさと化石の会



since 2020